平成29年 Case 10

有限会社みつや・トロアメゾン

業種 ▶ 食料品製造業

主力商品計画生産と地元食材新商品の製造環境構築での市場浸透・拡大

手作業工程の機械化による生産性向上を図り、主力人気商品の増産と地元食材を活用した新商品開発を行うとともに、これまで出来なかった計画生産を行い、市場浸透と市場拡大を図る。

本事業の取組み経緯

当社は、近年売上が減少傾向にある。現状を分析をした結果、商品の製造工程の多くが手作業であるため、「その日販売する商品は、その日に作る」作業となり、計画生産ができない事、長時間労働が常態化しており、新たな商品の開発や、主力商品の増産に注力できない事が課題として挙がった。

その結果、通販・外商に人手を割けない状況が生まれ、百貨店などの催事への出展、商品のOEM生産の引き合いや、お中元・お歳暮需要等への対応が不十分となり、販売増・販路拡大の機会損失を招いている。

今回の取組により、機械化による「製造工程の効率化・増産体制の構築」「生産余力による少量多品種化への対応と技術力向上」「従業員の働き方改革」を通した売上アップを目指す。

本事業の取組み成果

従来、手作業により時間のかかっていた工程を機械化することで、時間短縮すると共に増産が図れた。また、従来は単純作業も担当していたパティシエは技術を要する工程に配置転換できた。今回導入した設備は以下の通りである。

① セットパンナー（製品の自動配列機）
800個/時間 ⇒ 2,400個/時間の大幅な増産が可能となった。また作業ミスに起因する廃棄ロスも、ほぼゼロになった。作業要員も熟練者3名 ⇒ 監視要員1名で対応可能となった。

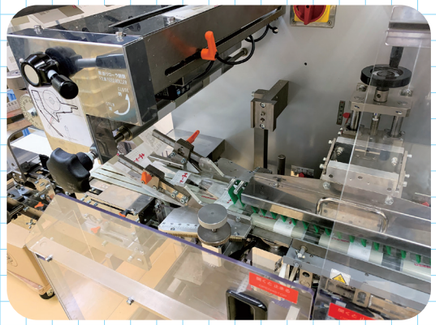
② 小型密封ピロー包装機（自動包装機）
現状の120個/時間 ⇒ 3,600個/時間の大幅な増産が可能となった。また、気密性の高い包装紙の使用、及び、脱酸素剤の封入が可能となった。

上記により、売上増と共に、4名の配置転換が可能となり、ウェディングケーキ等「ちょっと手間がかかるけど、技術とハートのあるパティシエにしか出来ない仕事」に注力できるようになった。

ものづくり補助金の導入

①**セットパンナー**
レオン自動機株式会社 KP302
取扱量　2,400個/時間

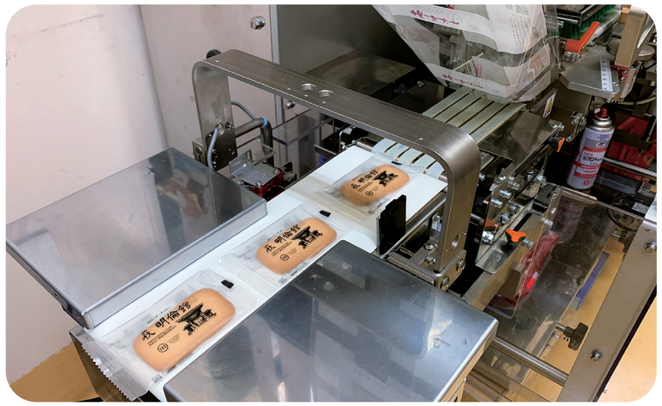
②**小型密封ピロー包装機**
川島製作所 GW-7型
取扱量 3,600個/時間



- 有限会社みつや・トロアメゾン　● 平成10年7月1日創業
- 〒757-0002 山口県山陽小野田市大字郡397-5
- TEL 0836-73-2034　FAX 0836-72-0960
- 資本金 300万円　● 従業員数 21人

http://www.3maison.co.jp/

当社は、昭和35年に創業した和菓子のお店「みつや」から数えて、本年で60年目を迎える。地元のお客様に支えられながら、平成2年には「トロアメゾン」として洋菓子の店となり、平成10年に法人化した。当社の企業理念は、「より良いお菓子と人づくり」である。



ものづくり補助金で導入した自動包装機。
作業効率が大幅に向上した。

作業の様子

広々とした店内には、多くの商品が並びます。

みつや・トロアメゾンの商品

今後の展望

地元食材を使用した「寝太郎かぼちゃパイ」は、従来、製造時間が確保できず、通常の商品として販売できませんでしたが、今回の事業を通して定常的な製造・販売が出来るようになりました。今後、レギュラー商品に育て、新たな「山口」のお土産として、県外にも販売ルートを広げ、地元特産品の消費拡大、知名度アップに貢献します。

代表取締役　水上　隆男